

人口分析結果のポイント

- 死亡者数が出生者数を上回る自然減少と転出者が転入者を上回る社会減少（転出超過）が続いている。
- 進学、職業（就職）、結婚を主な理由として転出超過が発生している。
- 特に若年層の女性の転出が多く見受けられ、一度転出すると再転入しない傾向にある。
- 合計特殊出生率は、平成22年の国勢調査で県内最下位。

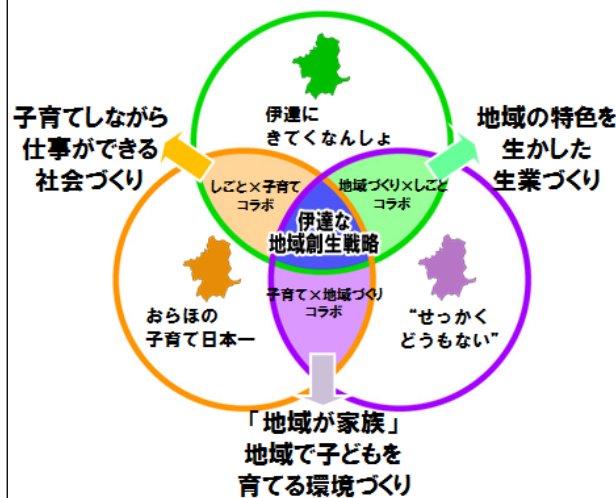
人口減少対策の基本的な方向性

- 人口減少問題への対策は、成果が現れるまで中長期的な取り組みが必要。
- 過度な人口減少を抑制するには、若者の定住を図り、結婚への希望が持てる環境づくりが必要。
- 根本的対策には「雇用の創出」が必要。
- 女性や若者が働きやすい雇用環境整備が急務。

伊達な地域創生戦略の考え方

人口減少を憂えることではなく、人口減少下においても生活の質を高め、市民が地域に誇りを持ち、伊達で暮らすことに豊かさとゆとりを実感できる地域にすること

<基本目標のリンク>



基本目標

1. 伊達にきてくなんしよ

しごとをつくり、新しいひとの流れをつくる

- ▼ 地域資源を活かした産業の創出
- ▼ 移住者による新たな事業の創出
- ▼ 幸せを実感できるまちづくり

数値目標(平成31年度)

- ▼ 20歳から39歳までの人口移動数 331人→230人（70%程度に抑制）
- ▼ 観光入込客数 523,838人→700,000人

2. おらほの子育て日本一

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ▼ 地域ぐるみで子育て世代を見守り・支える環境づくり
- ▼ 子育て世代が地域で活躍できる場づくり
- ▼ 出会いから結婚・妊娠・出産・子育てへの切れ目のない支援
- ▼ ふるさとへの愛着と誇りの醸成

数値目標(平成31年度)

- ▼ 婚姻件数 210件→5年間で1,600件以上
- ▼ 出生数 342人→5年間で2,000人以上

3. “せっかくどうもない”

生きがいをもって暮らす健幸都市をつくる

- ▼ 生涯にわたって健やかに暮らす健康づくり
- ▼ 安心して子育てができ、安心して歳がとれる健幸都市の推進
- ▼ 地域全体が家族となる環境づくり

数値目標(平成31年度)

- ▼ 健康寿命の延伸 向上を目指す
- ▼ 小さな拠点の形成数 0箇所→2箇所

具体的な施策

起業支援と新しいしごとを生むイノベーションの推進

地域特産を活かした産業の振興

交流による移住定住の推進

結婚の希望をかなえ、安心して産み育てられる環境づくり

感性豊かな子どもの「生きる力」を育む環境の充実

ふるさとへの愛着心と誇りの醸成

生涯元気な市民を増やす健幸都市の推進

多様な連携による多世代間地域づくりの推進

地域を紡ぐコミュニティづくりの進展

想定している主な取組（★新規事業 ◎先行型 ■既存事業）

- ★①企業誘致推進事業・創業支援事業
- ★②伊達地域まちづくり活性化事業
- ★③まちなかワイナリー事業
- ◎④雇用促進事業

- ①農業後継者育成支援事業・就農支援事業
- ★②森林資源を活かした生業づくり事業
- ③6次産業化推進事業
- ◎④猪革プロジェクト事業

- ◎①伊達田園回帰支援事業
- ②空き家対策事業・中心市街地活性化コミュニティ活動事業
- ◎③ふるさとティーチャリングプロジェクト
- ★④英語が溶け込むまちづくり事業
- ★⑤住宅優遇支援事業
- ⑥道の駅建設(相馬福島道路を活用した販賣拠点整備)事業
- ★⑦梁川歴史と文化のまちづくり事業

- ★①子育てファミリーウェルカム事業
- ②伊達市版ネウボラ事業
- ③伊達市子育て応援出産祝金支給事業
- ◎④伊達市産前産後子育て支援ヘルパー派遣事業
- ★⑤伊達市子育てアプリ事業
- ★⑥ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）推進事業

- ①教育相談事業
- ★②伊達市チルドレンズ・インダストリー事業
- ③いきいき土曜日体験活動事業

- ①ふるさとづくり事業
- ②青少年育成市民会議団体支援事業
- ③学校地域支援連携（スクールコミュニティ）推進事業

- ①健康運動習慣化支援事業
- ②健幸都市推進事業
- ★③生涯活躍のまち加速化事業

- ★①共助社会構築推進事業
- ②見守りネットワーク事業
- ★③近隣市町村との戦略連携強化（福島県北5市町誘客推進・ふくしま観光圏整備事業）
- ◎④阿武隈急行沿線地域の広域連携と新たな観光資源創出事業・公共交通等利用促進参画事業

- ①地域公共交通活性化協議会参画事業
- ★②地域づくり計画策定事業（地域自治組織推進事業）